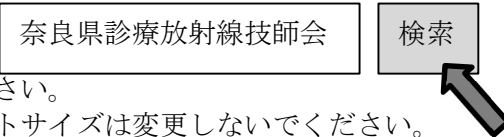


(公社) 奈良県診療放射線技師会 学術大会 2022

会員研究発表 演題募集のお知らせ

2022年11月27日(日) 会場：橿原市商工経済会館7階大ホール

『被ばく低減への道のり～患者も術者もまもる～』

大会テーマ	労働安全衛生法令では、労働者の安全と健康を確保する等を目的とし、電離放射線障害防止規則で労働者を放射線による被ばくから防護することを義務付けている。 令和3年4月1日より施行された改正電離放射線障害防止規則で、放射線業務従事者の眼の水晶体に受ける等価線量が5年間につき100mSvおよび1年間につき50mSvと限度が引き下げられた。 医療における放射線防護体系は正当化と最適化が重要である。放射線の専門家である診療放射線技師が適正な基準を作り、検査を受ける患者の医療被ばくおよび術者の被ばくを低減する必要がある。 今回の学術大会では、「検査の最適化に向けて」をテーマにシンポジウムを行います。多種職の考えや各施設での被ばく低減への取り組み等ディスカッションすることで被ばくについて考える機会としたい。
会員研究発表	被ばく低減に関する演題、それ以外の分野の研究発表でも構いません。 各施設の日常業務の様々な工夫や研鑽を是非ご発表いただき、診療放射線技師の未来に繋がる時間を共に過ごしましょう。 学術発表を経験されたい方、もっと経験を積みたい方もこの機会に是非チャレンジしてみませんか？皆様からの演題を心よりお待ちしております。
演題募集期間	2022年8月1日～2022年9月30日
発表形式	口述発表（プレゼンテーション7分、質疑3分）
応募資格	技師会会員（但し、2021年度奈放技・日放技会費完納者） 入会手続き中の方も発表可
演題区分	「撮影技術」「機器管理」「接遇」「医療安全」「被ばく管理」 「線量管理システム導入に向けた取り組み」等
応募方法	下記の奈良県診療放射線技師会のホームページにアクセスし、抄録フォーマットをダウンロードしてご記入ください。 https://x.gd/rExqM  1) フォーマットに従って必要事項を明記して下さい。 2) フォーマットの書式、フォントおよびフォントサイズは変更しないでください。 3) 抄録本文は800字までとします。 4) フォーマットを発表者本人が連絡可能なPCアドレスから送付してください。 5) 演題の採否は学術委員会にて行い、募集期間終了後メールにて通知いたします。
利益相反の開示について	産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、全ての発表に「利益相反 (Conflict Of Interest:COI)の開示を求めます。
研究の倫理面に関する注意事項	研究の倫理面に関する注意事項について応募演題の研究の内容により、厚生労働省などによる倫理指針および所属施設が定めた倫理規定を順守することが必要です。また人間を対象とした研究では、あらかじめ所属施設などにおいて倫理審査委員会などによる審査・承認を得ていることが必要です。
著作権に関する注意事項	演題登録に入力された個人情報には奈良県診療放射線技師会学術大会2022運営の目的以外で使用することはありません。また、スライド作成にあたっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題が生じないように十分に配慮してください。問題が生じた場合、発表者自身が責任を問われることがあるので、注意してください。
送付先	学術委員長 細川 倫之 hosokawa@rokuen.jp

★併せて学術大会実行委員も募集中★問い合わせ 西奈良中央病院 細川 倫之 (hosokawa@rokuen.jp)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束の見通しがつからないことから、日時や場所の変更、あるいは開催を断念せざるを得ないことも予想されます。何卒ご理解ご了承のほどお願い申し上げます。